

4. 伊丹市のまちなみづくりのデザイン

●道路整備

平成 17 年に策定された計画をもとに、歩行者優先道路の修景等整備が行われています。昔からのまちなみと調和して、雰囲気の良い歩きやすい道になっていました。



神社の参道を、歴史的な趣を感じるデザインに修景整備



歩道を拡幅し、歩行者の回遊性を高め地域の賑わいを高めるよう整備



整備イメージ

●案内サインの整備

まちなみの統一感を出すために、案内サインのデザインを統一されていました。



サインのイメージ



統一されたデザインの案内サイン



●日よけ幕、短のれん・バナーの設置

地域の一体的な賑わいを創出するために、日よけ幕、のれん、バナーが設置されています。のれんのデザインは、一部で市内の芸術大学や一般公募による公募を行っており、色々な方が地域に関わる仕組みを作っていました。



店舗に設置された日よけ幕



公募によって選ばれたのれんと選考の様子



掲出されたバナー



店舗に設置されたのれん

新規の会員、整備内容へのご意見をお待ちしております！

発行：道明寺駅周辺まち整備協議会

協議会参加団体等：道明寺まちづくり協議会、道明寺天神通り商店街、道明寺地車保存会、藤井寺市観光ボランティアの会、道明寺天満宮、道明寺地区等

連絡先：事務局（藤井寺市 都市整備部 まち建設課）

TEL：072-939-1099 FAX：072-952-9504

参加者
大募集!

学生さんの参加も
歓迎します！

道明寺駅周辺まち整備協議会 ニュース vol.9

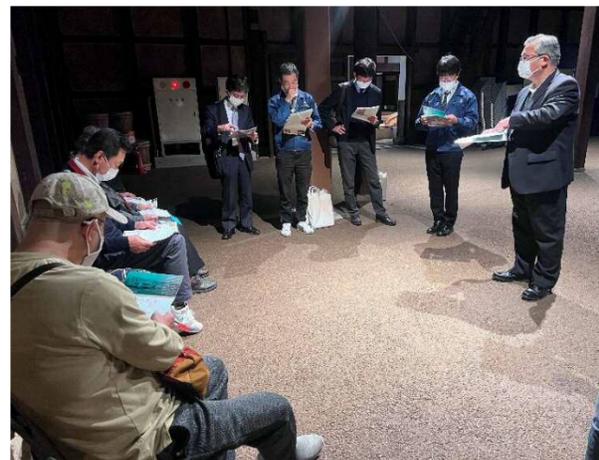
2022年
11月

道明寺駅周辺のまちづくりの参考にするために 伊丹郷町（伊丹市）の視察に行ってきました

1. 視察の概要

当日はあいにくの雨となりましたが、伊丹市の担当者の方、伊丹まち未来株式会社の方から、今までの取組の説明を受け、道路の整備状況等の視察を行いました。

日付：令和4年11月29日(火)
場所：伊丹市
参加者：8名

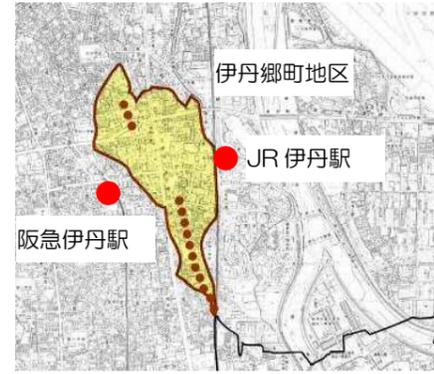


2. 視察の概要

●伊丹郷町とは

伊丹市は兵庫県南東部に位置し、神戸市から約20km、大阪市から約10kmの圏域にあり、面積25.09km²、人口約20万人のまちです。今回視察させていただいた「伊丹郷町」は、江戸時代以降かつての有岡城の城下町跡に在郷町として栄えていました。

伊丹市は清酒発祥の地として知られていますが、「伊丹郷町」にはかつて多くの酒造が立ち並び、造り酒屋が36軒あったと言われています。現在でも、かつてのまちなみが残されています。



伊丹郷町地区

●伊丹郷町のまちなみ

今回は、猪名野神社の南に延びる参道と、JR伊丹駅前の東西の通り（伊丹酒造通り）を中心に視察しました。



【猪名野神社前参道】

参道を感じさせる石畳調のアスファルトで舗装し、まちなみに落ち着きを与えていました。



【伊丹酒造通り】

一部を歩行者優先道路にして、安全性・回遊性を高めていました。



3. 伊丹郷町のまちづくりの取組

伊丹市では「もてなし、そしてあこがれへ！」をテーマに、都市のブランド戦略を進めてきました。大きな取り組みの柱は、以下の4つです。

まちなみづくり

にぎわいづくり

こだわりづくり

人づくり

●まちなみづくり

道路の修景整備のほか、統一された案内板の設置、協力企業による社会貢献型バナーの掲載、暖簾・日よけを使った演出など、統一されたまちなかサイン整備に取り組みされました。



バナー掲載の様子



設置された案内板



デザインされた暖簾

●にぎわいづくり

通り沿いの広場（三軒寺前プラザ）での定期市をはじめ、関西で初めてとなる「まちなかバル」など、様々な団体と協力をして積極的にイベントが開催されました。



まちなかバルの様子



まちなかバルの様子



定期市の様子

●こだわりづくり

市内の企業や地域の店舗と連携した特産品開発を進める他、図書館などの地域の施設を活用したビブリオバトルイベントなど、伊丹郷町ならではの体験ができるイベントを実施しています。



図書館でのイベントの様子

●人づくり

やりたい人がやりたいコトを行える場を作り出すことを目的に、定期的な活動・情報共有の場の設置、市内の大学と連携等の取組をしています。



さまざまな人がまちに関わる